



© JFA / PR



VOL.48 2023.3.31

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

北海道（札幌ブロック）

中村 麻衣さん

【中学校年代への取り組みについて】

北海道ではまず4月の雪解けと同時にU13フェスティバルを開催しております。毎年道内から100人以上の選手が集まり楽しくも熱い戦いが繰り広げられますが、札幌地区の選手達も所属チームが決定している選手・まだ迷っている選手・辞めようかなと思っている選手、色々な気持ちを持ちながら参加してくれております。

この大会を機に、チームが決まったり、やっぱり楽しかったから続けよう！と思ってくれる選手もいるので、北海道としても札幌としても今後も続けていけるように頑張っていきたいな。と思っております。

札幌地区単独としては、札幌のU15チームと小学生6年生の交流会を毎年開き、進学時の各チームの情報や女子カテゴリーの情報提供をする場として、札幌地区のチラシ作成や道内の女子チーム一覧表などを配布するなど行っております。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

札幌では普段は4種で活動している選手や女子単独のチーム・スクールで集まっている。女の子同士でもサッカーを楽しめる場として、他地区のチームも良しとした縛り緩いリーグ戦や交流会など行っております。もちろん各チーム女子の大会にも参加などしながら、楽しみつつも切磋琢磨出来る環境になっているのかな。と思っております。

後はトレセン活動やガールズサッカースクール札幌ブロック・なでしこひろばの定期開催を通して、ガールズ年代でもキッズ・U10メイン・U12メイン・初心者・経験者など個人に合わせて参加できるように各事業で差別化出来るようにしております。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

今年度は2月11日(土)に札幌ドームにて、「JFA女子サッカーデー北海道 講演会」を開催致しました。

WEリーグ初代チェアの岡島喜久子氏・JFA副委員長片リスペクトフェアプレー委員長の今井純子氏をお招きし、講演をして頂きました。

また、北海道出身の熊谷選手や、審判で活躍している手代木審判員からのメッセージを頂いたり、今年開催される女子W杯に向けてメッセージを集める企画など女子W杯の周知なども行いました。

会場に来れない方のために、オンラインでも視聴できるようにしたり、当日都合のつかない方のために後日配信するなど、出来るだけ多くの人たちに聞いてもらえるように、北海道女子委員会・技術委員会の方たちが色々工夫して、内容の濃いものになったと思います。

【今後の目標】

今の課題として、女子の活動を知ってもらおう！という所が課題になっており、告知や情報発信の部分で試行錯誤しております。

昨年SNSなどの活用を始め、今年はチラシ配布・U15年代のチームと告知しあえるようにしよう。など少しずつ動けてきてはおります。

今後、もう少し色々やってみて何か効果的なのか見つけていけたらと思います。特にサッカーをやったことのない、これから始めたい子達にむけての情報発信の仕方。

今後の展開として札幌全体で女子サッカーの普及や育成も含め、みんなで上手く協力しながら各チームが存続・継続出来るようになっていけるように、色々な事業を通して各チームを知ってもらえれば良いなと思っております。そして、サッカーファミリーが増えていってくれるようにやっていきたいと思っております。

また、その一環として、来年度より札幌大学女子サッカー部さんと一緒になでしこひろばを運営していけることにもなりましたので、楽しみにしております。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

北海道（道北ブロック）

鈴木 康宏さん

〈〈テーマ：北の大地に「なでしこ」の花を〉〉

【中学校年代への取り組みについて】

小学校から中学校へ移行する時の登録数激減対策として、毎年4月、北海道の普及コーディネーターが中心となって「U-13女子8人制サッカーフェスティバル」を開催している。道北地区としては、道北三協会に呼びかけ、合同チームで参加しています。まずは、U-12の合同チームで知り合い、「次はU13のフェスティバルに出ようね」という気持ちを大事に、少しでも続けてもらえるよう登録激減対策の一環としてとらえています。また、夏休みに道北ブロック女子トレセンU-15を実施、次の日から、2日日程で女子U-15・U-18のフェスティバルを開催しています。遠い地区からでも女子選手が集まれるきっかけになる取り組みを増やしていこうと考えています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

今年度は旭川トレセンとして参加しましたが、下川町（片道90km）と羽幌町（片道130km）に1人ずつ参加希望の女子がいたので合同で参加しました。今後は、道北一帯に参加を呼び掛け、女子選手の少ない地域の子も含めて、三地区協会の合同チームとして参加できるよう取り組んでいきます。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

2月11日（土・祝）北海道サッカー協会女子委員会がオンラインイベントを実施。JFA女子委員会副委員長今井純子氏とWEリーグ初代チェア岡島喜久子氏を招き、講演をしていただいた。道北地区でも、チーム単位、個人単位での参加を広く呼びかけた。また、この時期に道協会女子委員会では、冊子「女子サッカーチーム一覧」、リーフレット「北海道の女子サッカーガイド」を作製しているので、旭川地区では3種・4種の登録チームに所属する全女子選手に配布するとともに「サッカー広場」に参加した女子たちにも配布するなど、普及にも役立っています。



【今後の目標】

宗谷地区協会・道北地区協会・旭川地区協会の三地区協会を抱えた広い道北地区ですが、各地区との連携を図り、女子選手数を把握するとともに女子のサッカー人口を少しでも増やすための普及活動に取り組んでいく。そのために、キャラバン隊を結成し、キッズやU-12を対象にした広場的な催しを道北各地で行う。また、ガールズゲームやガールズエイト、その他フェスティバルなどに、道北三地区協会の選手を集め合同チームとして参加していく。そのほかに、女性指導者を増やすとともに、今いる女性指導者の指導者資格や審判資格の取得に協力する。中学の部活やクラブチームとの連携を図り、所属する女子選手を集めて練習会や試合を行うなど、女子だけのサッカーの機会を増やしていく。取り組むべきことは多々ありますが、少しでも実現できるよう頑張ります。

普及コーディネーター取り組み事例紹介③

北海道（道東ブロック）

春名 健司さん

【中学校年代への取り組みについて】

令和4年4月9日(土)、10日(日)に「第4回北海道U-13(中学生)女子8人制サッカーフェスティバル」を北海道の5名の普及コーディネーターによる運営で開催しました。これは、一人でも多くの6年生が中学生になってもサッカーを継続するよう働きかけるため、部活体験前の4月上旬に意図的に期日を設定し、北海道サッカー協会主催、道女子委員会主管で開催しています。2日間で延べ64名の選手の参加がありましたが、新型コロナの影響で、道東からの参加チームはありませんでした。このフェスで大切なところは、本フェスを迎えるまでの6年生への働きかけです。今現在、令和5年4月開催のフェスに向け、各地区で動いている最中です。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

北海道では8月にガールズゲーム熊谷・高瀬杯サッカー大会が札幌にて開催されています。道東からは、十勝とオホーツクから1チームずつ参加がありました。4種チームの協力により、男子U-12リーグ真っ只中の時期ではありますが、ガールズゲームに参加することができます。改めて日頃からの4種チーム・指導者との連携の大切さを感じています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

道東ブロックとしての取り組みは、残念ながらまだ始められていません。北海道としては2月11日に講演会を開催し、JFAリスペクト・フェアプレー委員長兼女子委員会副委員長の今井純子氏とWEリーグ初代チェアの岡島喜久子氏にご講演いただきました。本講演会はWEB参加可能、Youtubeによる後日配信ありというもので、遠方の選手・保護者・指導者も参加・視聴可能なものとなっていました。札幌から遠い道東ブロックにとっては、こうした開催方法は大変ありがたいものです。次年度以降も開催について広く情報展開していくことに努めていきます。

【今後の目標】

令和5年11月に、道東ブロック女子委員会を中心となり「道東女子サッカーフェスティバル」を開催する予定です。時期的にフットサルになってしまいますが、小学生以上の女子チーム・選手に広く声をかけ、同日程・同会場で開催します。道東の女子選手が一堂に集って楽しめるフェスにできるよう、道東4地区の女子委員長と準備を進めていきたいと考えています。そして令和6年度以降は屋外開催を目指し、より多くの人数で思いっきりサッカーを楽しめる環境を整えていけるようにしたいと思います。

各チームでの取り組み、なでしこひろば、大会やフェス等が単発なものにならず、有機的に繋がって相乗効果が出るような体制に整備していけるよう努めていきます。

普及コーディネーター取り組み事例紹介④

北海道（道南ブロック）

浅利 清美さん

【中学校年代への取り組みについて】

北海道では、小学生から中学生への移行期にサッカーとのつながりを作れるようにU-13女子サッカーフェスティバルを行っています。各地区やブロックでチームが作れない場合でも参加できるように様々な工夫をしています。今年度は、2日間の開催のうち1日参加も可能としたり、参加人数の少ないブロックを合同させたりして、できるだけ参加しやすいようにしました。道南ブロックから参加の選手の中には、中学校でサッカーの継続を迷っていた選手もいましたが、部活では違うスポーツをやりながら女子チームでサッカーの継続を決めた選手もいました。来年度は、個人での申し込みも可能にして、参加しやすく、色々な地区の選手とチームになることで交流も図れるように考えています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

4種年代の選手たちは、集まって活動する機会が少ないのでトレセン活動やなでしこ広場はとても貴重な機会となっています。ガールズゲームは、同年代の選手と交流ができるだけでなく、女子との試合ができるので、まだまだコロナの影響がある中でしたので宿泊や送迎も保護者に協力をお願いして参加をすることができました。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

集合型とオンラインの2パターンで参加を選択できる形で、2月11日に開催しました。また、アーカイブ配信もしていただいたので、当日に参加できなかった場合でも視聴することができました。ハイブリット型にすることにより多くの人の目に触れる機会を得ることができてよかったと思います。また、岡島久子氏や今井純子氏にもご講演していただいたことや北海道出身の熊谷選手や手代木審判員からメッセージをいただき、W杯をより身近に感じることができたと思います。その後、女子の大会などで応援メッセージカードを集める企画などにつながったのではないかと思います。

【今後の目標】

女子のカテゴリーは、年齢の幅が広いので、どの年代にスポットを当てていくのが活動していて非常に悩ましいです。JFAや北海道協会とも連携が重要だと思いますが、それだけでなく実際にボールを蹴っている選手の声を届けることも大切な仕事だと考えています。今、頑張っている選手を大切に、協力してくれる人も増やしていく活動をしていきたいです。道南でも、なでしこ広場を開催している地区が少しずつ増え、本当に少ない人数でも活動していますし、地区協会のバックアップによってサッカーが出来る環境を整えている地区もあります。どのような形でも、サッカーを始める、サッカーを続けていける環境を整えていけるように、横の繋がりを強くしていきたいです。



なでしこリーグ
Nadeshiko League

なでしこリーグ 情報(3月掲載)

<http://www.nadeshikoleague.jp/>

2023Plenusなでしこリーグ開幕

～オフィシャルガイドブック発売～



- ・本誌の電子書籍版付き
- ・キープレイヤーのコメント動画付き

詳細は[こちら](#)

[1部日程](#)

[2部日程](#)



なでしこリーグに関わる全ての人に安心安全な環境を

なでしこリーグは、昨年「なでしこリーグビジョン」を策定いたしました。「サッカーと幸せになる」というステイトメントとともにアマチュア最高峰のリーグとして追求するものは、サッカーに関わる全ての人々が、地域、パートナー、子ども、友人、職場の同僚らと共に、自らのライフスタイルを充実させながら大好きなサッカーと生きることができる環境です。

国際化、価値観や生活様式の多様化の中で、オンザピッチ・オフザピッチにおいてもフェアプレーやリスペクトの精神が浸透させることが“ウェルフェア”（幸福、快適な生活）環境の醸成につながると考えます。

2023年度より全チーム「クラブ・ウェルフェアオフィサー」の設置義務化

- サッカーに関わるすべての人が安心安全にサッカーを楽しむことができるように、リスペクトとフェアプレーの精神あふれる環境を醸成する。
- 好ましくない行動、状況においても、新しい視点から気づきを伝えることで、“ウェルフェア”環境が推進されることを実践する。
- ひたむきでフェアな女子サッカーの魅力をなでしこリーグからより一層発信していく。

第2回コンプライアンス研修会開催

- 【対象】 選手、コーチングスタッフ、フロントスタッフ等、
2023年 チームに 所属 する 全員
- 【開催形式】 オンライン
- 【研修内容】 コンプライアンスに関する基礎知識(対象者に特化した内容)
- 【講師】 一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構
副代表理事
増島 みどり 氏

対象者	開催日	時間	参加者数
スタッフ	2/21(火)	13:30-15:00	160名
選手1回目	2/25(土)	19:30-21:00	586名
選手2回目	2/28(火)	9:30-11:00	66名



なでしこリーグ
Nadeshiko League

なでしこリーグ 情報(3月掲載)

<http://www.nadeshikoleague.jp/>

なでしこリーグはJFA女子サッカーデーに賛同します！

なでしこリーグ
@Nadeshiko_L

3月8日は #国際女性デー

#なでしこリーグ は、#JFA女子サッカーデー に賛同いたします
なでしこリーグビジョンにある「サッカーと幸せになる」を
すべての女性が実現できるよう、サッカー界全体と連携しながら盛り上げて
参ります。

#世界でいちばんフェアな国になろう #女子サッカー

世界でいちばんフェアな国になろう

JFA 女子サッカーデー

3.8

スフィーダ世田谷FC
@sfidafc

#JFA女子サッカーデー

#スフィーダ世田谷FCでは、
スフィーダ(挑戦)を通じて、世田谷をもっと楽しくするをビジョンに、
地域における女性活躍推進や女子サッカーを軸とした普及活動を実施して
おります。

これからも #なでしこビジョンで掲げる「女性が輝く社会」を実現する活
動に取り組みます！！



ニッパツ横浜FCシーガルズ【公式】
@yfcseagulls

本日3月8日は #JFA女子サッカーデー

#横浜FC スクールではなでしこコースも日々元気に活動中

これからも誰もがサッカーを楽しめる環境づくりを積極的に行っていきま
す

そして女の子たちの輝ける存在に！
希望を届ける存在に！

#国際女性デー
#yfcseagulls #yokohamafc



大和シルフィード
@syphid1998

#国際女性デー

#大和シルフィードでは、
◆7歳～14歳の女の子を中心とした子どもたち
◆働く女性のヘルスケア
◆女性アスリートの心身の健康
に特化して、これからもエンパワメントを続けていきます。

「Girls Empowerment Project」今年もやりますよ！
お楽しみに！



静岡SSUポニータ
@su.bonita

【JFA女子サッカーデー】

本日3月8日はJFA女子サッカーデー

私たちは女子サッカーを通して、多くの方たちに感動や希望、そして笑顔
を届けられるよう活動していきます

#世界で一番フェアな国になろう



伊賀FCノース三重【公式】
@iga_kunoichi

本日3月8日は #JFA女子サッカーデー

伊賀FCノース三重では、巡回スクールを通して女の子がサッカーに触れる
機会を提供しています

男女関係なくサッカーに触れる機会をみなさんで作っていきましょう

#伊賀FCノース三重
#世界でいちばんフェアな国になろう
#なでしこリーグ



ラブレッジ名古屋
@LoveledgeNagoya

3月8日は「JFA女子サッカーデー」
なでしこの「笑顔」で、日本中を明るくしよう！

ラブレッジ名古屋では女の子だけのサッカースクールを行っています！
性別、年齢関係なくみんながサッカーを楽しめる環境を自由しています！

#朝日インテック・ラブレッジ名古屋
#JFA女子サッカーデー



日体大SMG横浜/日体大女子サッカー部
@NITTADAISMG

今日は3月8日
#JFA女子サッカーデー

#日体大SMG横浜 は、#SMGミライ応援プロジェクトや地域のサッカー
教室を通じて誰もがサッカーを楽しめる環境やきっかけを創るよう活動
しています

これからもみんながサッカーを楽しめる活動を積極的にしていきます！

#国際女性デー





なでしこリーグHP コラム連載更新！



伝統を引き継ぎ「なでしこ」の名に込められた、ひたむきにボールを追う選手の魅力を改めて探ります。

②1 山内恵美 (審判員)

息子を応援していたサッカー未経験のお母さんが女子1級審判員になった理由



コラムのリンク先は[こちら](#)

②2 庄司美優 (福岡J・アンクラス)

未来に向かって走り出した16歳のなでしこリーガー期待の2シーズン目へ



コラムのリンク先は[こちら](#)

②3 安達沙織 (ノルディーア北海道)

北の大地で看護師を目指し、大学-病院の実習-サッカーと走り続ける19歳



コラムのリンク先は[こちら](#)

【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2023年2月開催申請数

1	北海道	17	8	25	滋賀県	8	3
2	青森県	5		26	京都府	8	
3	岩手県	5	3	27	大阪府	19	5
4	宮城県	11		28	兵庫県	11	
5	秋田県	3		29	奈良県	3	
6	山形県	2		30	和歌山県	3	
7	福島県	2		31	鳥取県	8	4
8	茨城県	9	3	32	島根県	1	
9	栃木県	16	3	33	岡山県	11	5
10	群馬県	6	4	34	広島県	10	
11	埼玉県	38	5	35	山口県	3	1
12	千葉県	12		36	香川県	8	
13	東京都	63	3	37	徳島県	5	2
14	神奈川県	25	2	38	愛媛県	4	
15	山梨県	6		39	高知県	2	
16	長野県	12	2	40	福岡県	13	
17	新潟県	7	2	41	佐賀県	6	3
18	富山県	5	3	42	長崎県	7	3
19	石川県	6	1	43	熊本県	5	1
20	福井県	7	2	44	大分県	6	1
21	静岡県	13	1	45	宮崎県	3	
22	愛知県	22	4	46	鹿児島県	2	
23	三重県	10		47	沖縄県	8	
24	岐阜県	5			合計	461	74

【2023年2月データ】

- ・全国登録団体数 : 461団体
- ・新規登録団体数 : 1団体
- ・認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (63団体)
 - 2) 埼玉県 (38団体)
 - 3) 神奈川県 (25団体)
- ・全国開催申請数 : 74開催
(1月の開催申請数から3開催減)

あっという間に3月も終わりを迎え、春の訪れが感じられる季節となりました。桜が咲き始めるこの時期は、新たなスタートを切るチャンスです。暖かい日が増えるにつれ、屋外での活動も楽しくなってきますね。

2月のなでしこひろば開催申請数は、1月と比べて3開催減少しましたが、春の訪れとともに徐々に活動が再開されることでしょう。新しい季節の始まりに、皆様のご無理のない範囲でなでしこひろばの開催を検討していただくと、大変うれしく思います。

地域別認定団体数

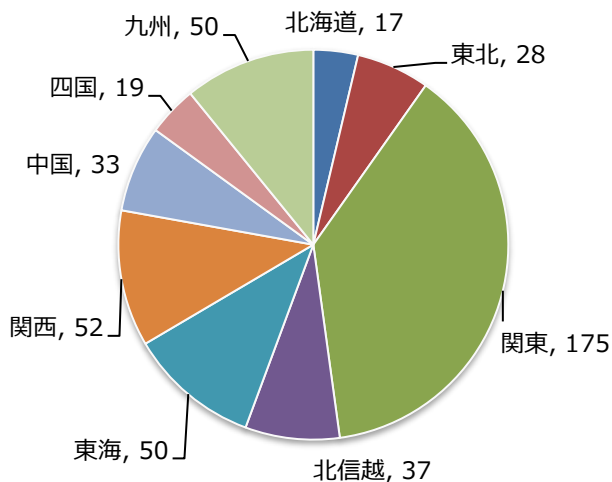
関東	175カ所
北信越	37カ所
東海	50カ所
関西	52カ所
中国	33カ所
四国	19カ所
九州	50カ所
【合計】	461カ所

【事務局の受け付けが変更になっております】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

これまでの電話受け付けがなくなりメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : nadeshikohiroba@jfa.or.jp
(3月よりアドレスが変更となりました)



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>